

今

後回しにしない
今の状況を今から変えて
未来に自信を持てるようにする

県立三次高等学校 2年 神田日向

知

世界の現状を **知**り将来を考えて
行動を改めてみてください

県立三次高等学校 2年 谷藤拓真

変

これまでの考え方を **変**え
自分事として危機感を持って
環境保全に取り組もう

県立三次中学校 2年 下岡快成

信

2050年 持続可能な社会になると **信**じ
自分たちができることを見つけて
自分たちにしかできないことをする

県立三次中学校 2年 岩倉伊吹

転

まだ現状を変えられる
目先の利益だけを見ず
世界規模の視点へと **転**換してほしい

県立三次中学校 2年 兒櫻浩介

動

今 **動**かなければ
10年後も危ないのだから
今から挑戦して未来を変えてほしい

県立三次青陵高等学校 1年 白根瑞紀

知

具体的な行動を起こすために
まず環境問題の **知**識を得るところから
始めませんか

市立堀町中学校 2年 梅木亮汰

矢

大人も子どもも
もっと環境について **矢**り
全員で考えてほしい

県立三次中学校 1年 井上海太

みよし未来環境会議 2023

8人のサステナアンバサダー 決意とメッセージ

Q・みよし未来環境会議ってなに？

A・三次市の未来の環境づくりに、若い世代の意見や感性を反映させるために設置されたんだよ。僕たちは、この会議に応募してサステナアンバダーに任命されたんだ！

Q・サステナアンバダーってなに？

A・サステナブル(持続可能な)とアンバ(大使)を組み合わせた言葉で、「持続可能な三次の未来づくりを担う大使」という意味が込められているんだよ！

2023 8/21 第1回 任命式

みよし未来環境会議



この日から僕たちのサステナアンバダーとしての活動が始まりました。

2023 9/2 第2回 基礎講座



自分たちの活動範囲や環境問題、SDGsなどの基礎を学びました。

2023 9/11 特別会

ボードゲームで脱炭素にチャレンジ

三次市DX推進本部WGコラボ

ボードゲームを使うことで、子どもから大人まで自分でも脱炭素の取組を楽しみながら学ぶことができました。

2023 10/14 第3回 フィールドワーク in 市内



人と生き物が共に暮らしていくこと、地域内の資源循環の大切さを学びました。

2023 10/21 第4回 ワークショップ①



三次の未来の「こうあってほしい!」と思う風景をレゴブロックで形にしました。

2023 11/13 第5回 (株)ローカル CFO&Futureサミット2023との交流&意見交換会



発想の転換や人がそのまちの魅力であること、挑戦することの大切さに気づかれた驚きと発見のある交流会でした。

2023 12/9-10 第6回 フィールドワーク in 市外



海・山・星空などの地域資源をみんなで守ることの大切さを学びました。

2023 12/23 第7回 ワークショップ②③



これまでの学びを共有し、自分たちの言葉で未来に向けたメッセージをまとめていきました。

2024 1/20 活動発表 まちづくり交流会



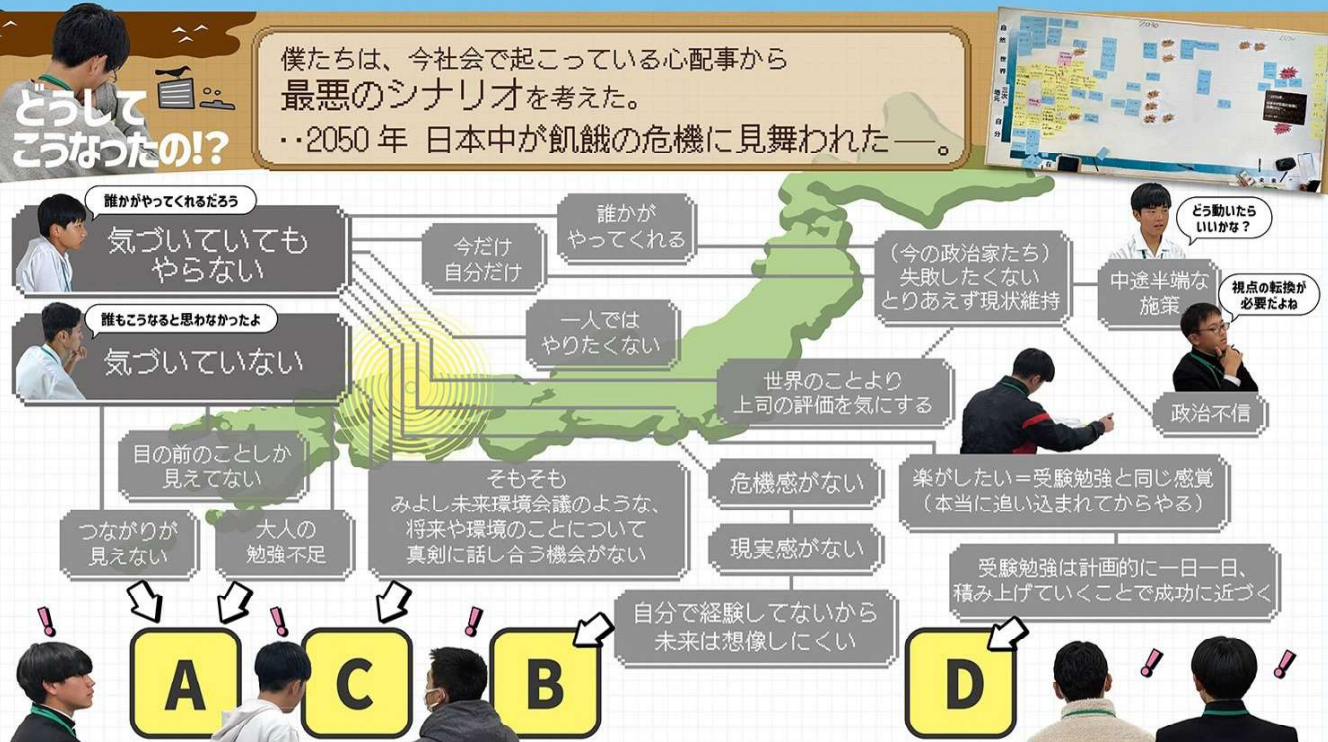
市民の皆さんに自分たちのメッセージを発表したり、レゴブロックや脱炭素ボードゲームで交流しました。

2024 3/2 第9回 ワークショップ④⑤



多角的に物事を見ることの重要性を学びました。また、提案に向けた活動のまとめを行いました。

2024 3/25 市長提言



最悪のシナリオを回避し、未来を変えていくための6つのビジョン

1 省エネルギー、再生可能エネルギーで支える まち

～地球温暖化を防ぐために～

太陽光発電を利用する

OFF 無駄な電気を消す

二重窓などで断熱をする

エネルギー問題

4 平和を広げる まち

～すべてをこわしてしまふ 戦争を起こさないために～

4つの取組の柱

平和の尊さを世界に伝える

戦争

2 生き物にやさしい まち

～生物多様性を保つために～

生態系の崩壊

生き物の絶滅

清掃イベントや

自然の中で学ぶことを通じて環境意識を向上させる

5 地産地消を進める まち

～地元のものを買って地域経済を活性化させるために～

食料問題

物価上昇

三次の食品・製品を選んで買う

3 資源を循環させる まち

～資源を使いすぎず必要とるに行き渡らせるために～

資源(石油・石炭)

資源の枯渇

リデュース・リユース・リサイクルを実践する

ボールペン

森林資源を利用する

6 人を呼び込める 魅力ある まち

～人口減少を食い止めるために～

人口の流出

魅力伝えるための講演会の開催

三次の良いところを情報発信する

4つの取組の柱

A 知る・学ぶ
地元の人の話を聞く
子どもから大人へ教える
地域を知るためのテーマ別マップづくりをする

B 実感・体感
社会見学などでその地域の取組に参加する
五感で自然を感じられる体験をする
最悪のシナリオを体験する

C 共有
意見交換のためのサイトをつくる
様々な世代同士が教える場をつくる
地域の人が集まれる場所をつくる
学校交流会を実施する

D 計画・実行
未来年表をつくる
アンケートなどにより、子どもの意見をしっかり聞いて計画する
個人、地域、行政が行うことを決めて行動する

課題を見つけ見直す

僕たちは自分たちから未来を変えていくことができると信じています
未来を好転させるため 僕たちと一緒に 現状を知り 思いを共有し 今から動きだしませんか